

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2019-07-01

APM news 214

秋山孝ポスター美術館 長岡

国の登録有形文化財・長岡市都市景観賞受賞・金庫扉と雁木のある美術館



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

第47回APM課外授業 6月6日(木)am10:50~12:00/参加者:85名

「上組小学校6学年 APM見学」



2019年6月6日(木)、秋山孝ポスター美術館長岡(APM)を見学するため長岡市立上組小学校(上組小)6学年の児童85名(引率者含む)が来館した。

上組小では美術教育に力を入れており、児童は6学年になると総合的な学習の時間の中で校内に設けられた「こだま美術館」を企画・運営していくこととなる。今回のAPM見学は6学年がこだま美術館を企画・運営する上で美術館や学芸員について学び、また地域の美術館であるAPMと館長の秋山孝について知るための活動である。

当日の説明を担当したのはAPM学芸員・たかだみつみである。まず美術館とは何かということから説明した。美術館の役割としては、①資料の収集、②保管・整理、③調査・研究、④発表の4つがあげられる。美術館に集められる資料は「宝」であり、後世へ伝えていかなければならない。その役割を担っているのが美術館であり、そこで働く学芸員である。学芸員は表に出てくることは少ないが、裏方として、資料を収集・保管し、研究し、その結果を展示などで発表する。「宝」である資料に対する強い思い、愛を持ち、それを伝えていくという使命があるとたかだは説明した。

次にAPMについての説明に移った。APMの館長は秋山孝である。長岡市宮内に生まれ、現在は多摩美術大学・教授、イラストレーター、デザイナーとして活躍している。上組小の出身で、6年生にとっては先輩にあたることを告げると、児童は一気に親しみを感じたようだった。秋山館長はポスターのコレクションもしており、APMのポスターコレクションは秋山館長が収集したものである。

APMは2009年に開館した。だが建物としての歴史はそれよりも長く、1925年に長岡商業銀行宮内支店として建てられたものである。2010年に長岡市都市景観賞を受賞し、2016年には国の登録有形文化財に登録された。今年94年を迎えるこの建物は何度も災害にさらされた。その災害の痕跡をAPMは残したままにしてある。災害の記憶を忘れず残しておこうという秋山館長の考えによるものである。

APMは「展示」「研究」「教育」の3つを通して地域に貢献することを目的に活動している。展示活動は、今年は5月～9月に「秋山孝の神秘5「考える技術」「表現する技術」」を、10月に「日本ブックデザイン賞2019展」を、11月に「メッセージイラストレーションポスター展11」を開催することを紹介した。研究ではポスターの研究をしたり、APMが行った活動をまとめ冊子を作成したりしていることを説明した。教育では、美術館大学という講演会を定期的に行っていることや、今回の上組小6年生によるAPM見学も、APMが行う教育活動であると説明した。

最後に、作品鑑賞の後に質問を受け付けた。作品1枚当たりの制作期間や、一番古い作品を尋ねるものなど多くの質問があがった。色をどのように塗っているのか、色違いの作品があるのはなぜかなど、小学生ならではの視点から見た質問もあり、学習意欲を感じた。また、今年の6年生は秋山館長のポスターに関する質問が多く、秋山館長やその作品に強い興味、親近感を持っていたように感じられた。APMがこれからも親しまれつつ地域の美術教育に貢献できるよう、地域との連携を大切にしていきたい。(森山奈帆・APM職員)